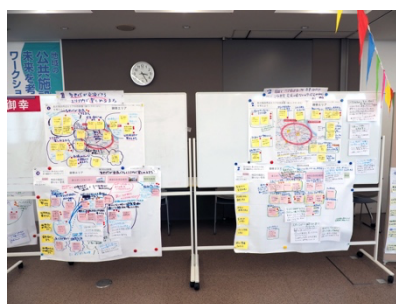


令和6年度 公共施設の未来を考えるワークショップ 第5回 記録【幸区】

概要	
日時	令和6年11月24日（日）14:00-17:00
場所	幸区役所4階第1～4会議室
参加者数	19名
検討エリア	堀川町エリア 古市場エリア 御幸エリア 南河原エリア



【堀川町エリア】

参加していないエリアの成果を共有し、感想を出し合おう

エリアの将来像への感想

○川への歩行者空間を考えよう

- ・川沿いを自転車で走ると、途中で通れないところがあり、使いづらい。自転車向けの案内があるともっと人が来やすい川沿いの空間になる
- ・桜並木の先が何もないので産業振興会館の活用をすると良い
- ・駅方面から川に徒歩でアクセスできるルートがないので歩道橋が必要である
- ・交通量の多い通りがあるため駅から多摩川までのアクセスが悪い

○駐輪場対策はまち全体で

- ・自転車置き場がないエリアなので駐輪場が増えたと良い

○多世代交流は幸区全体のキーワード

- ・「多世代と交流できる」というキーワードはどこの地区でも出ている重要なキーワードである

○川の空間をおしゃれにしよう

- ・東京タワーが見えるスポットとして活用すると良い
- ・山下公園のようなイメージで、ベンチや休めるところを設置すると良い

○施設を明るく入りやすく

- ・産業振興会館などは入口が入りづらいため、中が見えたと良い

「起点施設にあったらいいなと思う機能やニーズ」についての感想

○産業振興会館は川や周辺施設と連携した活用を

- ・桜まつりなどのイベントを活用すると良い
- ・ロケ地として活用してもらおうと広報効果も高い
- ・バスケットに興味がある人がバスケットができる、3on3 のエリアがあると良い
- ・人が来るきっかけがあると良い
- ・産業振興会館での展示などと河川敷の空間がリンクできると良い

○子育て中の親が集まる仕組みを

- ・時間外保育の場があるなど、公共施設に行かなくてはならない仕組みを作ると良い
- ・小学校が終わってから行ける場所にすると親も来るので良い

○産業振興会館の名前は身近になる名前にして PR を

- ・産業振興会館はイベント目的で行くことはあるが、建物の名前からは自分には関係ない施設に思えてしま

うので、名称変更に賛成である

- ・「産業振興会館」の名称を変えて利用方法も同時に PR をすると良い

○産業振興会館の活用の仕方を広げる

- ・学習塾などの企業に産業振興会館を貸すことで活用しても良い
- ・住民が集まる場所として活用しても良い
- ・SF フリマなど、オタク向けのイベントもやっている
- ・ブレイキンの生中継をしていたように、もっとそのようなパブリックビューイングとしての活用をするとう
良い
- ・天文のスポットとして活用すると良い
- ・高齢者の再雇用相談センターがあると良い

【古市場エリア】

参加していないエリアの成果を共有し、感想を出し合おう

エリアの将来像への感想

○若い人が住みやすい仕組みが必要である

- ・バスが便利ならもっと若い人が住むのではないか
- ・古い家をつなぐ空き家のマッチングをしてはどうか
- ・地価を下げて住みやすいようになると良い
- ・家具付きでお試して住む仕組みを作って、若い人を地域にマッチングしてはどうか

○まちの情報をもっと分かりやすくして PR する

- ・御幸公園の梅をもっと PR してはどうか
- ・PR の方法を充実させて、地域の情報を分かりやすく伝えてほしい
- ・バスルートをもっと分かりやすくしてほしい

○便利なバスをさらに使いやすくする

- ・地区内をまわるバスを走らせて川崎駅と繋いではどうか
- ・バスの使い勝手が良く、まちが渋滞しないところが良い

○地域と東芝がつながり地域にもっと開放してほしい

- ・東芝の社員食堂などを開放してはどうか
- ・東芝を使ってイベントができるようにしてはどうか
- ・東芝の敷地を通れるようにすることで、まちの分断をなくすることができる
- ・既に何かしているのならもっと PR してほしい

「起点施設にあったらいいなと思う機能やニーズ」についての感想

○公共施設に入りやすくするための工夫が必要である

- ・施設の設備だけではなく、ソフト面としてイベントを充実してはどうか
- ・古市場老人いこいの家を、気軽に入れる場所にしてはどうか

○高齢者と子どもが一緒に使えるようになると良い

- ・多世代がいつでも使える施設はどこでも必要ではないか
- ・老人がこどもと遊べるような場所になるようにしてほしい
- ・高齢者の施設とこどもの施設が両立できるように行政で進めてほしい

○公共施設が高齢者の社会参加する場になると良い

- ・高齢者が社会参加する場になると良い

○多摩川のスポーツ施設を活用する

- ・多摩川のスポーツ施設をサッカーチームの練習場として利用しつつ、川崎市内各地を転々としてはどうか

○地域の高齢化にあわせて、身の回りのものを公共施設で買えるようになる

- ・高齢化により、身の回りのものを買うためのお店が必要
- ・地域子育て支援センターふるいちばや古市場老人いこいの家で買い物ができるようになると良い

○公共施設を宿泊施設として上手く活用する

- ・東芝の人が出張で泊まれるようにしてはどうか
- ・駅の近くでないと民泊は難しいのではないかな

○施設の運営方法を新しくする

- ・運営者の進め方が古いので、変えないといけないのではないかな
- ・若い人が使いやすい施設がないのではないかな

【御幸エリア】

参加していないエリアの成果を共有し、感想を出し合おう

エリアの将来像への感想

○河原町団地は意外と外から見に来る人もいる

- ・河原町団地は、団地の中の2棟の建築（大谷幸夫設計）が素晴らしいため、建築ファンに SNS などでも人気の場所。もう少し活用の仕方を考えていったら良い
- ・最近放火事件もあった
- ・閉鎖的で通り抜けしづらいという人もいる一方で、普通に通り抜けに使っている人がいる

○多摩川の活用と災害対策を

- ・地域の資源として多摩川の活用を
- ・一方では水害などの災害対策がとても重要

○さいわい緑道から多摩川河川敷は良い散歩道

- ・さいわい緑道はよく花の手入れがされていて、素敵な空間になっている
- ・多摩川に抜ける良い散歩道

「起点施設にあったらいいと思う機能やニーズ」についての感想

○もしも小学校が廃校になったら地域で使えるように

- ・将来的に小学校の統廃合があるようなら、施設を壊さずに、地域の人々のスポーツや交流の場として使えるようにしてほしい

○体操教室や専門的な相談ができるように

- ・体の調子が悪い人向けの体操教室などを開催すると良い
- ・病気や怪我の専門的な相談ができるように

○幸スポーツセンターに屋内プールを作って活用を

- ・幸スポーツセンターに屋内プールを設置するというのは良い意見だと思う
- ・近隣の小学生が安く使えるようになると良い

○民間のスポーツジムとの違いを出していく

- ・幸スポーツセンターは民間のスポーツジムとの違いを出していく
- ・プログラムや器具も、若い人向けのものだけではないように
- ・プロ選手との交流も行政運営ならでは可能となるのでは

○子どもたちとプロスポーツ選手とのふれあいの機会を

- ・プロスポーツ選手との交流や指導を受けられる機会が大切

○**幸スポーツセンターでフリーマーケットや物々交換市を**

- ・フリーマーケットだけでなく、物々交換市も面白いのでは？

○**カフェや飲食店にもスポーツセンターらしい特色を入れる**

- ・アスリート向けの食事の提供
- ・レシピ教室
- ・幸休日急患診療所とも連携する

○**スポーツセンターはかなり個人利用されている**

- ・スポーツセンターはかなり個人利用もされているようだ

【南河原エリア】

参加していないエリアの成果を共有し、感想を出し合おう

エリアの将来像への感想

○外から人が来てくれるように、地域の歴史を発信する

- ・ハッピーロード商店街のお店が面白い
- ・行ってみないと伝わらない魅力がある
- ・おしゃれなお店と歴史をミックスする

○ウォーキング MAP があると良い

- ・おしゃれなお店を巡るためのマップを作り、店のおすすめのものを紹介する

○地域で昔からある保育園などの施設も耐震性などが理由で潰れないよう市が支援してほしい

- ・昔ながらの施設は耐震性が問題で潰れてしまった。上手に市が支援し、将来を見越して企業からのサポートがあると良かった

○園庭など幼児が遊べる場がもう少しあると良い

- ・園庭がないので南河原公園に行っている

○家庭を持つ時に地域の人々が外に転出してしまふのをなんとかできると良い

- ・高収入の人向けに、ラゾーナ辺りなどをエリアごとに緑化する
- ・南河原エリアを住み続けられるまちにする

○商店街から西側や路地が暗いので人が歩かないのかもしれない

- ・明るくなると人が集まり、にぎわいがでる
- ・商店街のお店は閉まるのが早いため、夜にテイクアウトができたり、気軽に入れる飲食店が増えると良い

○地形も平坦なのでバス通りを中心におしゃれなお店ができて人の流れが生まれると良い

- ・バス通りにおしゃれなお店ができることで、もう少し人の流れがうまれるとよい
- ・この辺りは平らなので回遊性は高い

○夜市の情報もまちの外の人にも知れるようにする

- ・夜市はこどもも楽しめる
- ・8月には神社でお祭りがある
- ・目的地になる場所が増えると良い

「起点施設にあったらいいなと思う機能やニーズ」についての感想

○地域に SDGs やフェアトレードのお店があることを発信して知ってもらいたい

- ・地域にある SDGs やフェアトレードのお店があまり知られていないので、もっと発信してはどうか

○外国人の方自身や地域の方が本当に求めているのかは疑問

- ・外国の方はたくさんいるが、友達ができるのは良いとしても、地域には興味がないのではないかな

○Canon の公開空地を開放してくれるとよい

- ・ Canon の敷地が使えると良い
- ・ 地域の不動産屋さんがワークショップを開催してくれたりしているので、この敷地でもできると良い

○ランチサービスがいこいの家であると良い

- ・ いこいの家でもランチサービスがあると良い

○公共の子育て支援が本当に必要なのかは疑問

- ・ 私立の学校にこどもが通うような、高収入の世帯が多いイメージがある。そのため、普通の子育て支援のイメージはない

ホワイトボード記録

[illegible]

アイスブレイク

○これまでのワークショップを振り返って、今の感想

- ・追加募集からの参加だったため、皆勤賞では無かったので全員と話せていないことからもっと話したいと思った
- ・もっと知らない地区の意見も出してみたいと思った
- ・40 年住んでいて、初めてこのような場に参加した。出来ればいろんなルートで情報提供してもらい、もっといろんな人に参加してもらいたいと思った
- ・突然封筒が届き、退屈な毎日に楽しみが増えた

○これまでのワークショップでやったこと（カワタン、ペルソナ設定など含め）の感想

- ・素直に楽しかった。大人になってからこのエリアに住んで 20 年。地元のことを知らなかったのも勉強になった。川崎市にこんなに公共施設があると知った
- ・今まで気にしていなかった老人いこいの家やこども文化センターの掲示板を見るなど、施設を立ち止まってみたりするようになった
- ・オフィスの近くにある施設も「どんなことをやっているのかな」と見るようになった。都内の施設ではビルの中の一角にあったりカフェがあったりするなど、川崎市の施設とも違いがあることもわかった
- ・全回に参加した。通知があった時は「市役所からの手紙が怖い」と思ったが、こういう機会が無いと考えることが無いのでよい機会であった
- ・最初のゲームでは、様々な年代の方々と話し合うと視点が変わってとても面白かったことから、その後のワークショップも全回参加した。カワタンはこれからを担う子たちがプレイするとまた違う視点になってよりよい効果があるかも知れない
- ・港区のスポーツ施設では既に在勤者が集まっていたり、小学校と併設されたりしているなど、今回出てきたアイデアが既に実現していると感じた。川崎でも取り入れられると良いと思った

トーク 1 公共施設を取り巻く現状を踏まえ、気づいたこと・感じたこと

○高齢化を身の周りで感じることはありますか？

- ・自分は 20 代後半だが、既に高齢化しきっている時代の世代である。公園などでは高齢者が多いと感じることが多い。ラゾーナには多世代の人がいたり、ファミレスには子育て世代が多くいたりするなど棲み分けされているのかも知れないが、まちなかには高齢者が多いのではないかと思う
- ・このまちをうまく使い切れていないと感じている。住んで 2 年であるが、日中は働いており、いろんな年代に出会える通勤時間などにまちに多いことから、高齢化をあまり感じていなかった。ワークショップに参加してみて、他のエリアや他の方々の意見を聞くことが出来たので、自分が歩いている時間では感じない意見もあった
- ・自分は 70 代だが、まだ介護をする立場である。周辺は、介護を受けたいと言う世代の人々ばかりである。日中に歩ける人々がいる場所と、介護を受ける人々がいる場所は違うと思う。若い人は、自分の生活や仕事ややりたいことをやることも重要なので、町会やマンションコミュニティなどに参加できないという現状を踏まえて、理想だけで無く現状に沿ったまちづくりも考えた方が良いと思う

○公共施設の老朽化や、あまり活用されていないなど感じることはありますか？

- ・感じていない。あまり公共施設を知らない。産業振興会館が近いので、何度か使ったことがあり、それほ

どでは無いと感じていたが、話を聞くと老朽化していることが分かった。公共施設の数是多すぎるようにも感じた。人口が減る中で何とかしなくてはならないんだろうなと思った

- ・老朽化で放置されていると思った

○ワークショップに参加して、公共施設や地域の見方は変化しましたか？

- ・休憩の時に話したのだが、ワークショップに参加するようになって地域の掲示板などに目を通すようになった。子供と一緒に参加しているイベントもあることも知ることが出来て、スポーツセンターのイベントに参加することにした。意識が変わり、情報を知ることが出来た
- ・ここで話し合われていたことが様々なところで既にされているのだと分かった。受取り側の意識の変化が重要であると思った。市民の声が反映される場も重要であると分かった
- ・一番変化したのが、掲示板を見るようになったことが大きいと思う。課題だと思うのは、紙の媒体がメインであるようだが、自分は普段は携帯などで情報を得ることが多いので、もっとデジタル媒体で発信してもらう方が良いと思った
- ・70 年川崎に住んでいたが、公共施設がこんなに川崎にあることに驚いた。どうやって高齢者向けのグループに入れるのか調べようとしたときに、どうやって調べれば良いか分からなくて苦労した。今後の方々のためにもどのように情報を得られるかを知ってもらいたい

トーク 2 公共施設の今後を考える中で、気づいたこと・感じたこと

○これまで出したアイデアの中で印象に残ったものや思い入れのあるものを教えてください

- ・ワークショップ誌を発行して皆さんが体験した内容を掲載して共有すると良いと思う
→ワークショップの内容の発信については、オープンハウス型の取組をしていきたいと思う
- ・スポーツセンターの建替の時にプールをつくって、近隣の小学生が授業を受けられるように、という案は良いと思った。民間と連携することでも、先生方の負担も減ると思う
- ・ワークショップで区役所の近くに川崎競輪の選手の宿泊施設があると知った。見に行ってみたら、施設名称も出していなかった。確かにセキュリティの観点から仕方が無いと思った。その後、市報で活用を検討するということを知った。今後、市民の力を使って活用していくと良いと思った

○本日の第一部の成果をみて、使い方・ニーズについての感想で印象に残ったもの・共感したものは？

- ・河原町団地について、建造物に興味がある。学生の頃勉強していた隈研吾。同潤会アパートの活用などを参考に活用すると良いのではないかと思った

○公共施設の可能性・ポテンシャルをどのように感じたか、どのあたりに感じましたか？

- ・公共施設の可能性について、これだけの方々がいらっしゃってこんな使い方されていると知らなかったという人が多いことから、公共施設を必要とする機会が無かったのだと分かった。使われていない公共施設があることは可能性しか無いと思った
- ・可能性について、ネーミングを変えることで新たな生まれ変わりが出来るという意見があった。川崎の勢いがある感じの良い名前がつくとそれが起爆剤になるかもしれないと思った
- ・朝の川崎駅の人の多い様子がエネルギー感であると感じる
- ・高齢者目線で老人福祉センターやいこいの家について考えた。周りに使う人がいないが知られていないことに課題を感じた。かわさき福寿手帳交付と一緒に施設の案内があるなど、お知らせいただきたいと思った
- ・みんなが使えるように建替や名前の変更などをすると将来は良いと思うが、すぐには出来ないと思う。例

えば老人福祉センターなどを見ると1階が事務的な利用をされており、利用者は2階に上がらなくてはならない。1階が一番使いやすいので、利用者に開放するなどのリフォームをするなどから始めると良いと思う